

「第3期いきいき健康大分市民21・第4期大分市食育推進計画(案)」の市民意見公募で寄せられた意見の概要とそれに対する本市の考え方

1. 受付期間 令和6年12月11日(水)～令和7年1月10日(金)
2. 受付人数 2人
3. 意見総数 4件 ※寄せられた意見については要約しております。

	意見の概要	市の考え方
1	<p>第2章大分市の現状と課題</p> <p>2 第2期いきいき健康大分市民21の評価と課題</p> <p>(2)各分野における評価と課題 (オ)喫煙・COPD (慢性閉塞性肺疾患)</p> <p>喫煙は、がん、循環器病、COPD(慢性閉塞性肺疾患)、糖尿病、周産期の異常(早産、低出生体重児の出産、死産、乳児死亡等)の原因になるとの表現は、十分な科学的根拠が示された疫学研究結果がないため、断言する記載を柔和化していただきたい。根拠のないものをたばこが原因と断言しないで欲しい。</p>	<p>ご意見の趣旨を踏まえ、表現を一部修正いたします。</p> <p>なお、喫煙と受動喫煙による健康影響の科学的根拠については、喫煙の健康影響に関する検討会による「喫煙と健康 喫煙の健康影響に関する検討会報告書」(平成28年8月)に詳細が示されています。</p>
2	<p>第4章 施策の展開</p> <p>1 第3期いきいき健康大分市民21における具体的な取組</p> <p>(1)個人の行動と健康状態の改善 ⑤喫煙 a 基本的な考え方</p> <p>喫煙と受動喫煙は、いずれも多くの疾患と因果関係が確立しているとの表現は、十分な科学的根拠が示された疫学研究結果が無いため、断言する記載を柔和化していただきたい。根拠のないものをたばこが原因と断言しないで欲しい。</p>	
3	<p>喫煙の評価指標に、望まない受動喫煙の機会 職場0%とあるが、健康日本21(第3次)の目標値は、望まない受動喫煙のない社会の実現となっており、目的は「望まない受動喫煙の防止」であり、国以上の厳しい目標設定は必要ない。望まない受動喫煙の機会への数値目標の設定は拡大解釈を招く恐れがある。</p>	<p>原案のとおりとします。</p> <p>国の第三次健康日本21は「望まない受動喫煙のない社会の実現」を目標とし、職場等における望まない受動喫煙を受けないことやその機会をなくすことを目指しています。また、職場における受動喫煙防止については、労働安全衛生法で事業者に努力義務が課せられております。本市の実態調査において、職場で望まない受動喫煙の機会がいまだに継続している状況を踏まえ、目標値を設定したところです。</p>